

—受賞施設紹介—

宮古市民文化会館【岩手県宮古市】



◎ “ホール文化による地域再生”を推進

東日本大震災により被災し、大規模改修を経て2014年12月に再開。以来、市内の小・中・高校生を対象とした鑑賞事業、高校生の演劇創作事業、市民劇、子ども劇団とジュニア・アンサンブルの育成などを実施。また、豊かな郷土芸能の継承・発信を目指す「芸能 Re;Connect」に取り組むなど、ホール文化による地域再生を推進した。

運営：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

開館：1976年

萬鉄五郎記念美術館【岩手県花巻市】



◎ “作家の顕彰”により地域に誇りと活力

旧東和町出身の日本近代絵画の先駆者である画家・萬鉄五郎を顕彰。町民運動によって誕生し、長年にわたり作家研究を行うとともに、岩手県初の公立美術館として県内作家の発掘や萬の前衛性を継ぐ若手美術家の紹介に尽力。商店街や地域住民と連携した「街かど美術館」「アート&クラフト・マーケット」にも取り組み、アートによる誇りと活力ある地域づくりに貢献した。

運営：花巻市 開館：1984年

塩竈市杉村惇美術館【宮城県塩竈市】



◎ “まちの文化広場”として地域に活力

塩竈市公民館本町分室（昭和25年築）を改修した美術館兼公民館。塩竈ゆかりの洋画家・杉村惇のコレクションを常設展示する他、若手アーティストの支援や多彩な子どもの美術体験プログラムを実施。地域住民の思い出の場所として街の記憶を掘り起こすユニークな企画を展開するなど、暮らしの中にある美術館として活力ある地域づくりに貢献した。

運営：仙台湾燻蒸株式会社 開館：2014年

神奈川県立近代美術館【神奈川県】



◎ “展覧会の企画”により美術文化を振興

鎌倉の鶴岡八幡宮境内に誕生した日本初の公立近代美術館（旧鎌倉館は2016年閉館。1984年に鎌倉別館、2003年に葉山館開館）。第二次世界大戦後の再生を掲げ、研究にもとづく精力的な展覧会の企画により日本の近代美術作家を位置づけたパイオニア。講座、出張授業、ワークショップなど鑑賞教育に力を入れ、長年にわたり美術文化の振興と普及に貢献した。

運営：神奈川県 開館：1951年

上田市交流文化芸術センター【長野県上田市】



◎ “レジデント・アーティスト” により文化力を向上

「文化の薫る創造都市」を標榜する上田市のシンボル施設（上田市立美術館併設）。レジデント・アーティストによる「芸術家ふれあい事業」を展開。音楽家を全小学校・全地区公民館に派遣する他、ワンコイン・コンサート、リサイタル、演出家や振付家によるワークショップ、高校生演劇事業、市民参加ダンス・演劇公演などを実施。アーティストとの交流により文化のまちづくりを牽引した。

運営：上田市 開館：2014年

大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）【大阪府】



◎ “プラットフォームの形成” を牽引

大阪府工業奨励館附属工業会館（1938年築）を改修した小規模アートセンター。府所蔵の美術作品を公開する展覧会の他、府民がクリエイティブな発想を学ぶ「enocoの学校」やクリエイターが地域とともにさまざまな社会課題に取り組む「プラットフォーム形成支援事業」などを展開。行政、府民、クリエイターが協働するプラットフォームの形成に貢献した。

運営：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ
開館：2012年

アルカス SASEBO【長崎県及び佐世保市】



◎ “クラシック音楽の普及” により地域に活力

長崎県北部の文化芸術拠点として長崎県と佐世保市が整備。鑑賞事業、アウトリーチ、ロビーコンサート、ジュニアオーケストラを含めた3つのレジデント楽団を立ち上げるなど、クラシック音楽を中心に事業を展開。また、市民演奏団体約100組が出演する「アルカス九十九島音楽祭」など、音楽を通じた交流により活力ある地域づくりに貢献した。

運営：公益財団法人佐世保地域文化事業財団 開館：2001年